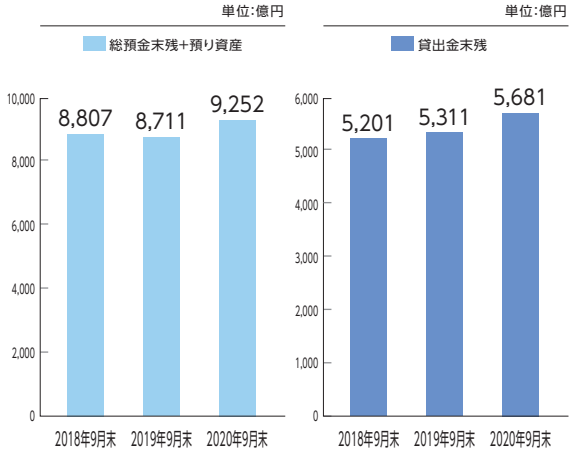
業績ハイライト

総預金及び預り資産・貸出金残高(単体)

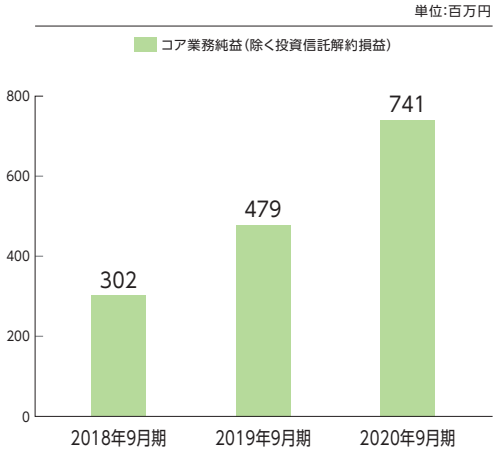
・総預金及び預り資産の合計は、2019年9月末比540億円増加し9,252億円となり、過去最高を更新し、初めて9,000億円を突破しました。
・貸出金残高は、事業者向け貸出の増加などにより、2019年9月末比370億円増加して5,681億円となり、過去最高を更新しております。



コア業務純益(除く投資信託解約損益)

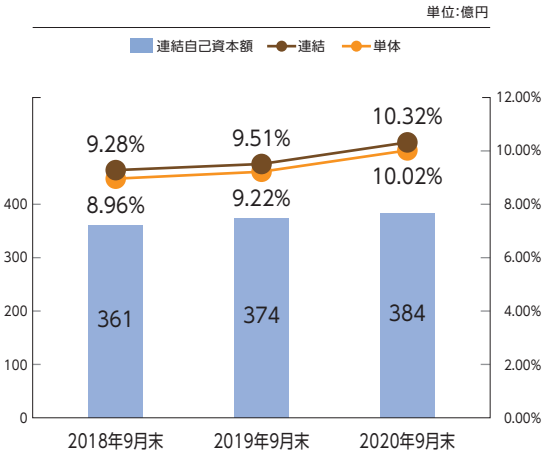
・コア業務純益(除く投資信託解約損益)は、貸出金利息の増加等による資金運用収益の増加や役務取引等収益の増加に加え、物件費削減等による営業経費の減少などにより、7億41百万円(2019年9月期比2億61百万円増加)となりました。

※「コア業務純益(除く投資信託解約損益)」とは、貸出業務など金融機関の本来の収益力をあらわす。
「コア業務純益(除く投資信託解約損益)」=業務純益+一般貸倒引当金繰入額−国債等債券損益−投資信託解約損益



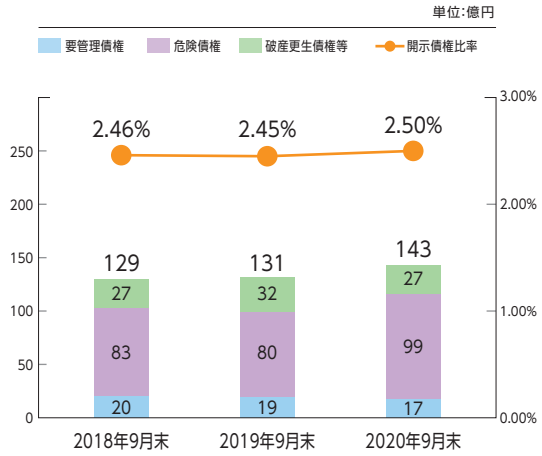
自己資本比率(国内基準)

・自己資本比率は、連結で10.32%(2019年9月末比+0.81ポイント)、単体で10.02%(2019年9月末比+0.80ポイント)となりました。国内基準行の基準を大きく上回っており健全性を維持しております。



開示債権比率(単体)

・金融再生法による開示債権比率(単体)は2.50%(2019年9月末比+0.05ポイント)となりました。



※金額は単位未満四捨五入